

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	入札・契約事務事業				開始年度		
基本目標	健全な財政運営				終了年度		
担当課(局)	総務課	担当係	契約管財係	記入者	濱本 明俊	評価者	間 省二
20年度決算	千円	21年度予算	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独	
20年度人件費	2,156 千円	21年度人件費	2,185 千円	事業従事者数	0.30 人	0.30 人	

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	公共工事の透明性の確保と公正な競争の促進、入札業務の簡素化を図る
事業の内容	入札制度改革に伴う、入札制度の検討。総合評価落札方式の試行。 契約等必要書類のホームページ掲載で事務の簡素化と経費節減を図る。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 総合評価落札方式の試行	従来の入札制度と比較して落札率が低下する。
	2 ホームページの活用	ホームページから様式をダウンロードできるようにし、業者の利便性向上と庁舎紙代の経費節減に努める。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 入札・契約検討委員会	8月に発足し、2回会議を実施し協議を行った。
	2 ホームページへの掲載	入札・契約関連様式を掲載した。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	総合評価落札方式の試行	目標値	0	1	3
		実績値	0	1	
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%
	ホームページの活用	目標値	式	1	1
		実績値		1	
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%
	0				
活動指標	入札・契約検討委員会	目標値	回	2	2
		実績値		2	
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%
	ホームページへの掲載	目標値	件	3	3
		実績値		10	
		達成率	%	#DIV/0!	333.3%
		0			
			%	#DIV/0!	#DIV/0!

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	入札制度改革や契約までの利便性向上については、町が検証していく必要がある。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	入札に関して、総合評価方式を検証し、今後の入札方式として検討する。総合評価方式は、金額のみの競争と違い、品質の確保にもつながる契約方式なので、引き続き試行を行う。 また、契約に必要な書類全てがホームページからダウンロードできるようにすることで、利用者の利便性向上と消耗品費の削減につなげる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	総合評価の試行件数を増やすことにより、データがノウハウが蓄積され検証しやすくなる。 契約業務について利用者の利便性を上げることで、事務効率も向上させることができる。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	なし

事務事業名	入札・契約事務事業	担当課(局)	総務課
-------	-----------	--------	-----

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	入札制度改革について、国は総合評価落札方式の導入と一般競争入札への移行を推進しているが、当町の一般競争入札導入については厳しい現状があるため、総合評価落札方式について更に試行を実施し、価格のみの競争入札ではなく品質確保の面から、入札方式の改革に取り組まなければならないと考える。 ホームページに関しては、これからも大いに利用し、業者等の利便性向上と事務効率改善に努めることが必要と考える。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充		○		
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎「経費節減」ということならば、消耗品等の削減額を算出するなど、成果として表せないか。
	コスト	縮小	